

◆令和6年1月～3月事故の状況◆

【事故の特徴】

- ☆労働災害と公衆災害を合わせた事故全体の件数は、9件発生しており過去5年平均に比べ3件減少しています。
- ☆労働災害は、6件発生しており過去5年平均と比較して同程度です。原因別では自動車事故が過去5年平均と比較して2件増えています。
- ☆休業4日以上労働災害、死亡事故はありませんでした。

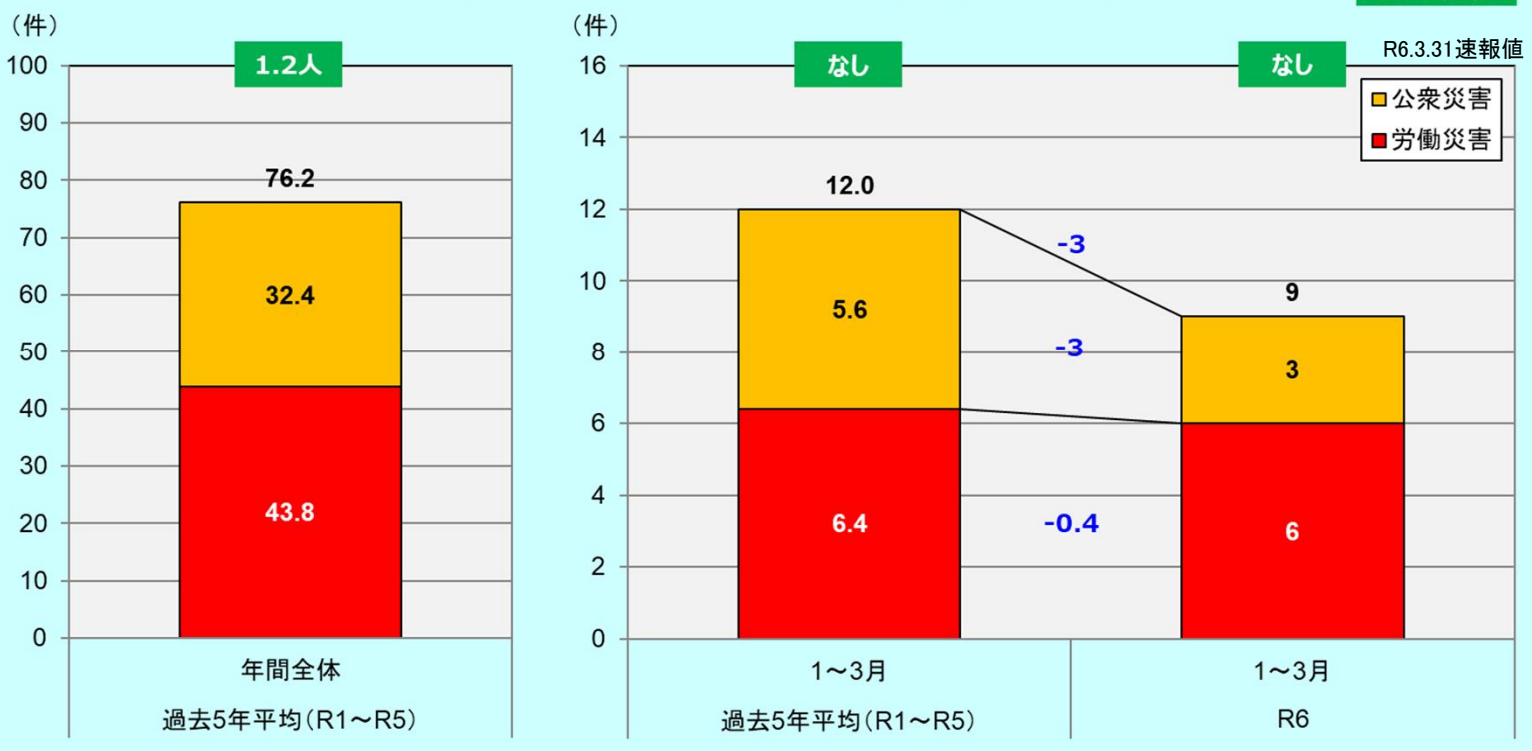
- ・ 例年5月から6月にかけて事故は増加します。
- ・ 工事着手直後は事故発生リスクが高いことから安全管理の徹底をお願いします。
- ・ 身体が暑さに慣れていないこの時期、熱中症対策を始めましょう。

※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる可能性があります。

～工事事故の発生状況～

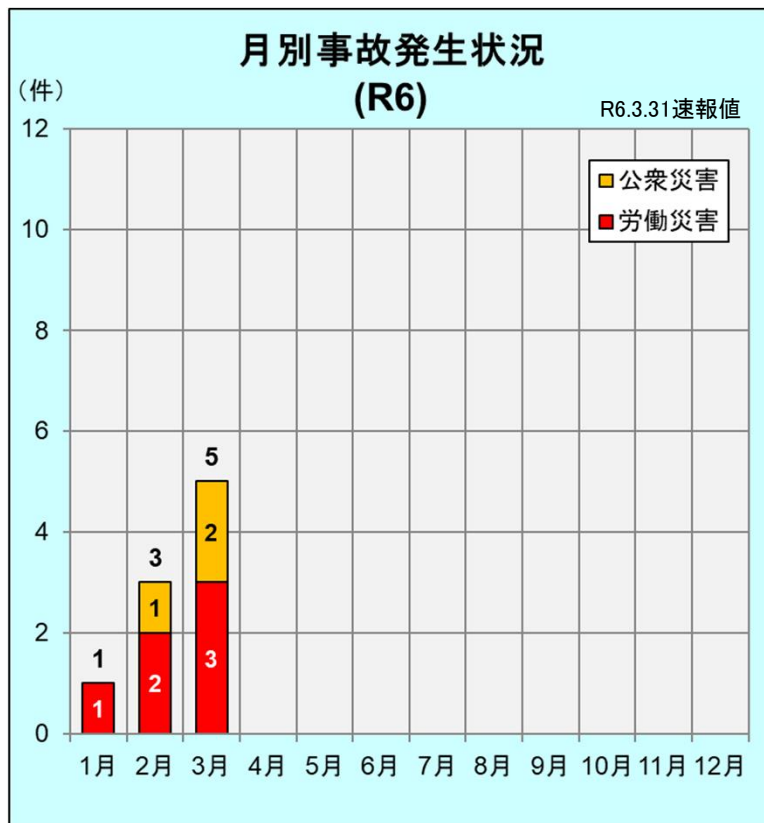
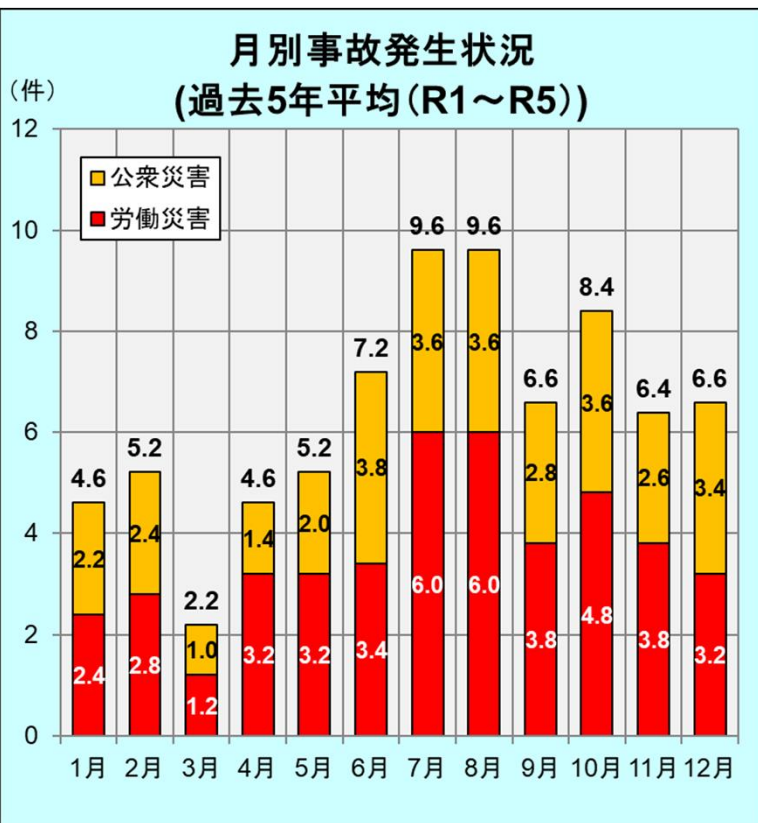
令和6年1月から3月までの事故件数9件で過去5年平均と比較する3件少ない状況です。労働災害は6件、公衆災害は3件発生しており、過去5年平均と比較してともに減少しています。

災害区分別事故発生状況の推移(R1～R6)



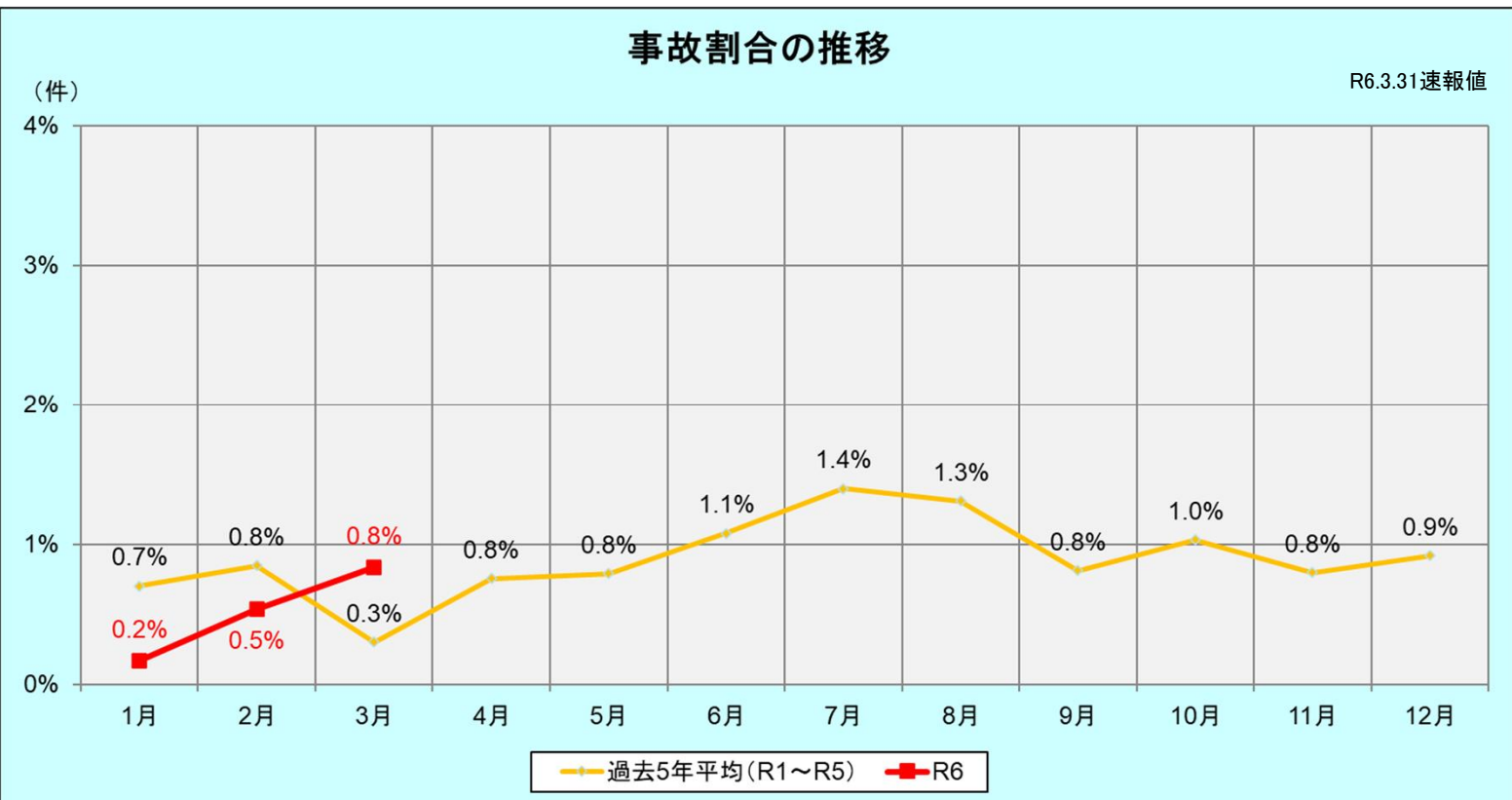
・月別の事故発生件数

過去5年平均と比較すると、1月、2月は減少しているものの3月は増加しています。



・事故割合

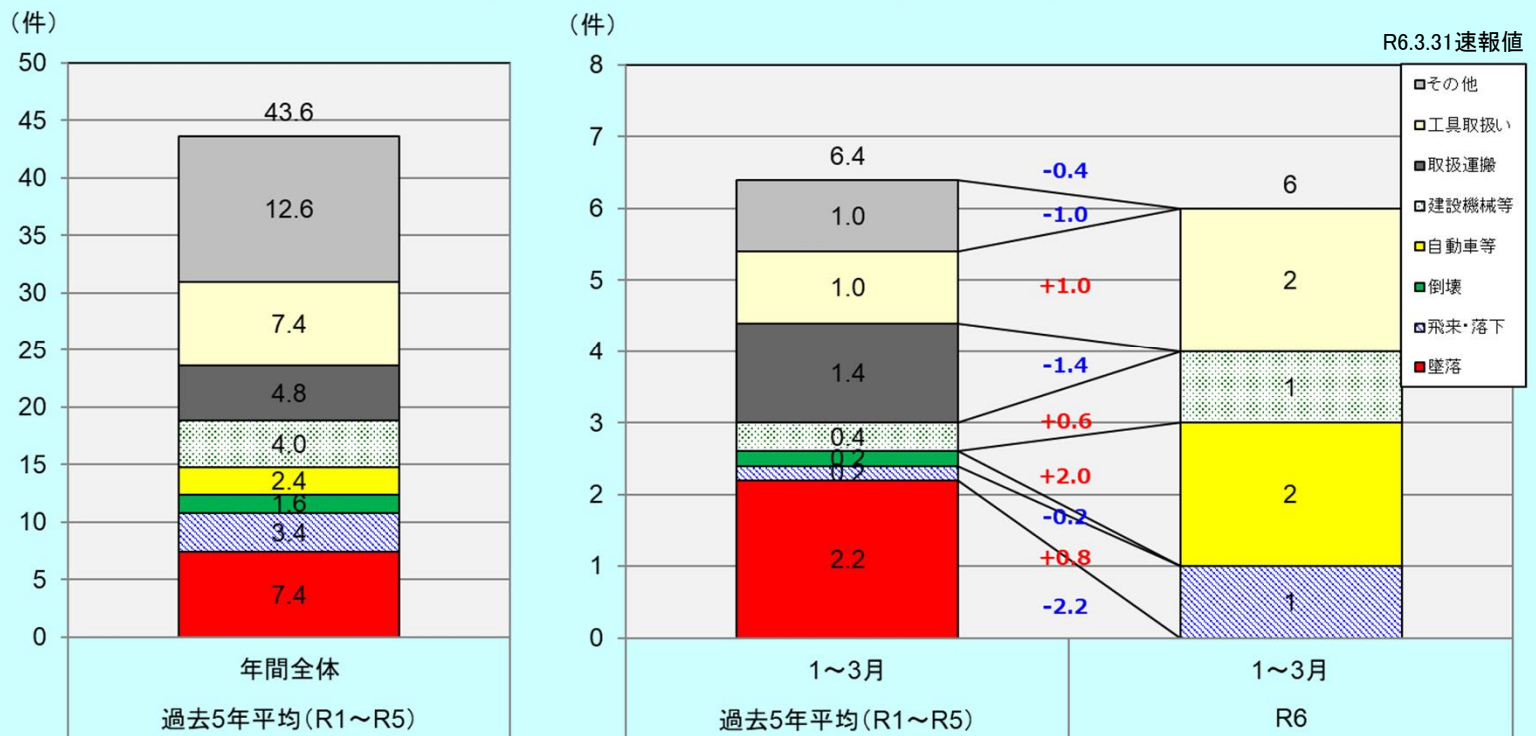
過去5年平均の事故割合の推移をみると、これからの時期は事故割合が増加する傾向がありますので特に注意が必要です。



・労働災害の原因別事故発生件数

令和6年1月から3月までの労働災害のうち、原因別で多い事故は自動車等、工具取扱いとなっており、過去5年平均と比較しても増加しています。

原因別労働災害発生状況(R1～R6)

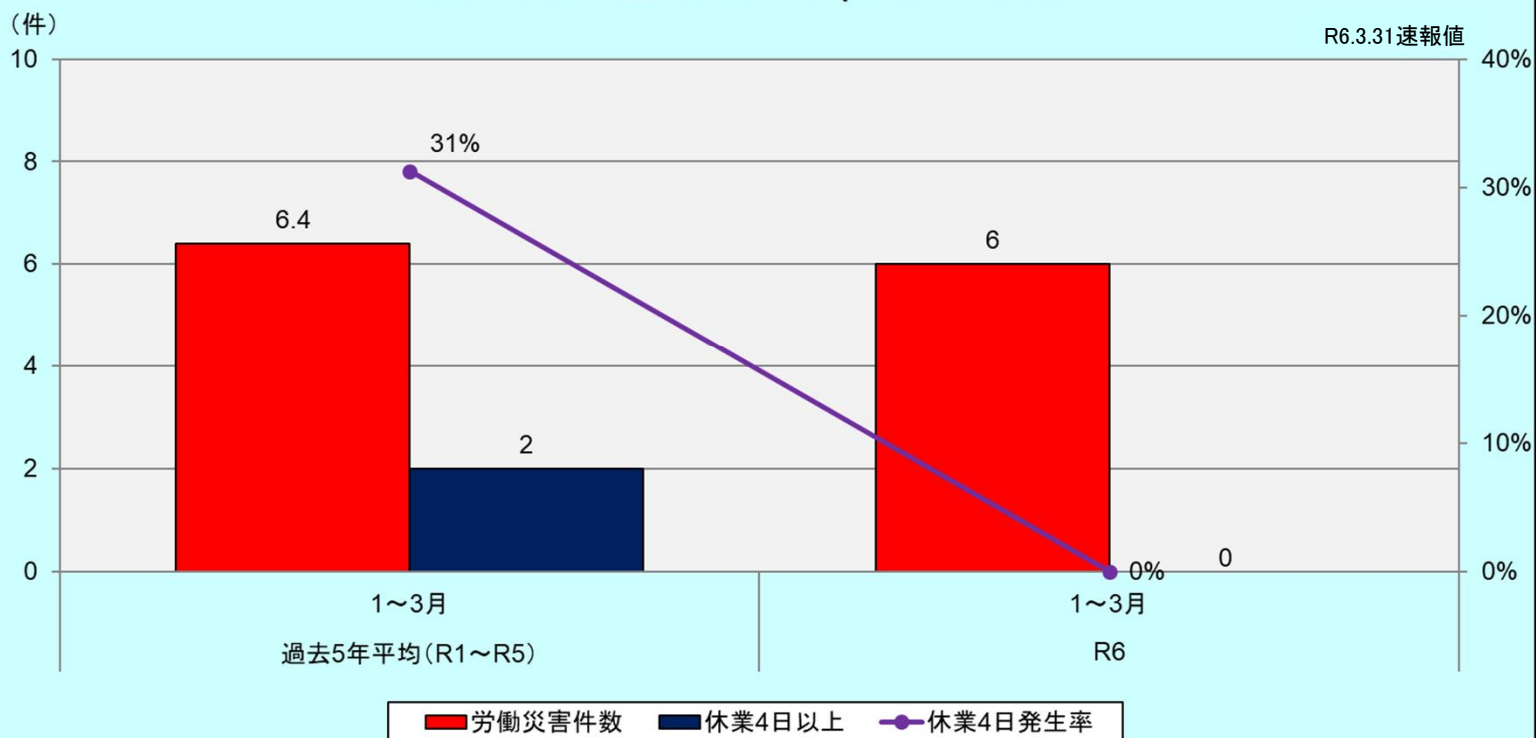


※その他: 転倒、土砂崩落・電気・爆発・港湾・その他事故 等

・休業4日以上事故発生状況

令和6年1月から3月までの労働災害は6件で、過去5年平均と同等ですが、重大事故は発生していません。

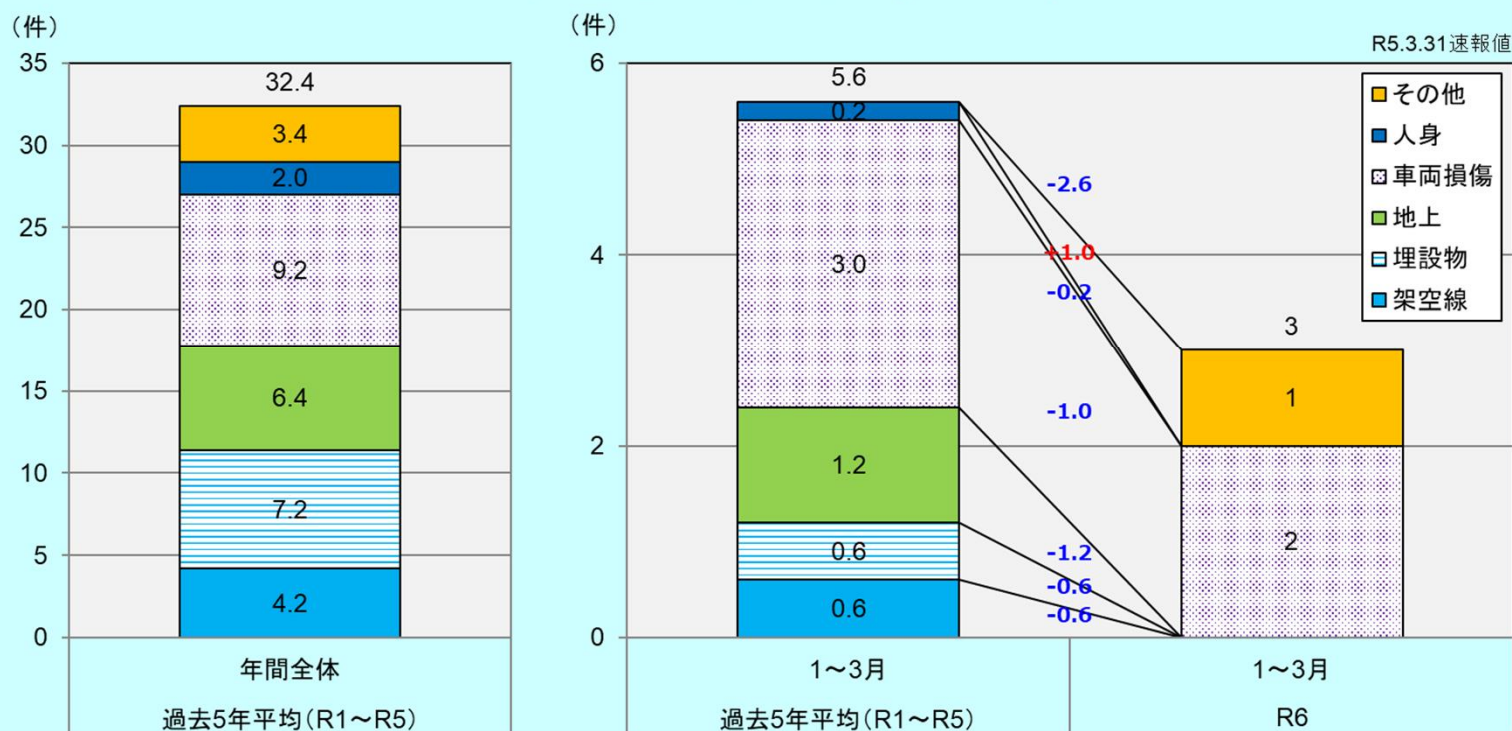
R1～R6労働災害の推移(休業4日以上)



・公衆災害の原因別発生状況

令和6年1月から3月までの公衆災害は過去5年平均と比較すると減少しています。過去5年平均と比べ、地上物件、車両損傷等が減少しています。

公衆災害原因別発生状況(R1～R6)



休業4日以上は建設工事事務データベース（SAS）に登録

- ・建設工事事務データベース（SAS）は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事務対策検討委員会や発注者において、工事事務防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。
- ・休業4日以上の建設工事事務事故等を対象に、登録に必要な事故番号、パスワードを発注担当課長等に通知しますので、受注者・発注者は、インターネットを利用して登録（入力）してください。

✓ <https://sas.hrr.mlit.go.jp/>



- ・登録に関する詳細については、ホームページ内の「SASのガイドライン」を参照して下さい。

【問合せ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 山崎

建設現場で発生した工事事故のデータを公開しています



工事現場の安全性向上に役立てていただくため、地方整備局・都道府県・政令市の発注工事で発生した約 1,600 件の工事事故データ（令和元年から令和 4 年度）の公開を始めました。Web サイトから、表計算ソフト「エクセル」形式のデータをダウンロードができます。工事の工種や事故が発生した年月日や時間などの情報の他、事故の要因や事故後の対策などを事例ごとにまとめています。

建設現場で発生する工事事故の件数は減少傾向ですが、過去と同様の事故が繰り返し発生しています。KY活動や工事事故防止に向けた対策の検討・立案にご活用ください。

「建設工事事故データベース」のエクセルファイル

公表しているデータ

- ・ 工事分野
- ・ 工事の種類
- ・ 工種
- ・ 工法、形式名
- ・ 災害分類
- ・ 事故分類
- ・ 天候
- ・ 事故発生年・月・時間
- ・ 事故発生場所（都道府県）
- ・ 事故に至る経緯と事故の状況
- ・ 事故の要因（背景も含む）
- ・ 事故発生後の対策

詳しくは、こちらをご覧ください

✓ https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_001048.html

✓ 工事事故データ 国土交通省



—5—



概要・利用規約



データベース